

令和4年第2回津市議会定例会……………	2
議決結果一覧表……………	14



津西ふれあい会館が令和 4 年 6 月より供用開始されました！

津西ふれあい会館は、新たなコミュニティの場として、観音寺町に建設されました。

施設には研修室3室を備え、研修会、サークル活動、ダンスなどの地域活動等にご利用いただけます。



令和4年第2回津市議会定例会

令和4年第2回定例会が、5月30日から6月23日までの25日間、開催されました。



開会日の様子

議案質疑 一般質問

今期定例会では、6月6日から9日までの4日間にわたり質疑・質問を行いましたので、その主な内容をご紹介します。各議員の発言時間は、一人一律60分以内で、問答の項目は、質疑・質問の中から議員が選んだものを掲載しています。

会派代表質問

- 3ページ……岡村 武（至誠会）、安積むつみ（公明党議員団）
4ページ……長谷川 植（未来開拓）、八太 正年（自由民主党市議団）
5ページ……田中 勝博（一津会）、坂井田 茂（津教育未来）
6ページ……中野 裕子（日本共産党津市議団）、桂 三発（一期一会）
7ページ……渡辺 晃一（津市民の会）、辻 美津子（津和会）
8ページ……田中 千福（津みらい）、村主 英明（津市創成）

個人質問

- 9ページ……保田 勝平、柏木はるみ
10ページ……倉田 寛次、青山 昇武
11ページ……石川 禎紀、中田 耕平
12ページ……吉川 一正、小島 晴美
13ページ……山路小百合、伊藤 哲也

会派の構成

津みらい

石川 禎紀 伊藤 哲也
藤田 定彦 ☆柏木はるみ
田中 千福 岩脇 圭一
◎吉田 博康 佐藤 有毅

津市創成

龍神 啓介 ☆中田 耕平
吉川 一正 山路小百合
◎村主 英明 小野 欽市

津和会

◎伊藤 康雄 ☆保田 勝平
川口 和雄 辻 美津子
倉田 寛次

◎代表者
☆議会だより編集委員

公明党議員団

堀口 順也 安積むつみ
☆小島 晴美 ◎青山 昇武

日本共産党津市議団

◎☆中野 裕子

一期一会

◎☆桂 三発

至誠会

◎ 岡村 武

津市民の会

◎ 渡辺 晃一

一津会

◎ 田中 勝博

津教育未来

◎ 坂井田 茂

津市の未来を考える会

◎☆佐藤 知子

未来開拓

◎☆長谷川 植

市民の声

◎ 福田 慶一

希望の風

◎ 田矢 修介

自由民主党市議団

◎ 八太 正年



問 太陽光パネルの設置規制に係る条例の制定は

クリーンエネルギーには大賛成であり、あまり人目につかない場所にメガソーラーを設置し、エネルギーを賄う政策は進めるべきだが、近年、「風格ある県都」において、まちの景観を損ない、美しい田園風景を壊してしまう太陽光パネルが、増えてきているがどうか。「風格ある県都」であれば太陽光パネルの設置規制に係る条例は既に制定されているべきだが、制定済みの自治体数は。

答 1,718市町村のうち184市町村(10.7%)が制定済みである

太陽光パネルに関し、令和3年度には42件の苦情があり、その内容は、パネルの反射光、パワーコンディショナーによる騒音、管理状況のほか、景観に対するものなどであった。「風格ある県都」ということを考えたときに、太陽光パネルが景観を乱していることは十分にあり得る。

太陽光パネルの設置規制に係る条例は、地方自治研究機構の調査結果によると、1,718市町村のうち現時点で184市町村(10.7%)が制定済みである。

近年、市街地や住宅に近い場所で太陽光パネルが設置されるケースが出てきており、引き続き、しっかりと考えていくべき問題だと思っている。

その他の質疑・質問

- 成人になってからの人生を大きく左右する乳幼児教育について
 - 非認知能力と認知能力について
- 津エアポートラインの減便について
 - コロナ禍前と現在の便数は
- 排水施設（ポンプ場）の役割について

▶ 市民ニーズに合った便数に戻すべく、津市として努力を



問 がん治療による外見の変化に悩む患者へ補正具購入費の助成を

昨今、がん治療を受けながら仕事をする人が増えている。抗がん剤等の影響による脱毛や、乳房切除等により、外見が変化した患者に対し、見た目を気にすることなく、社会参加の後押しとなるアピランスサポートが必要と考える。脱毛に対応する医療用ウィッグや乳房切除後の胸の形を整える人工乳房などは高額であるため、購入に対する助成制度を三重県初で設けてはどうか。

答 国や県などの動向を注視しつつ、本市の対応について研究する

がん治療による脱毛や乳房の喪失といった外見の変化は、治療による身体的な負担とともに、心理的に大きな負担になると考えられる。医療用ウィッグや人工乳房を着用することは、日常生活の質の向上につながり、心理的な負担を軽減するための一助になるものと認識している。

現在、これらの補正具購入費の助成については、国から制度の方針は示されておらず、県や県下の他市町においても、助成制度は設けられていない。

今後、国や県などの動向を注視しつつ、先行事例等も調査し、本市の対応について研究していく。

その他の質疑・質問

- 物価高騰等の影響を受けている方（子育て家庭・給食を提供する事業所等）への支援について
- 市民の健康を支える施策（がん・更年期障害）
- 民間保育所および民間事業所への支援について
- 保育園の使用済み紙おむつを市で回収の考えは
- 子宮頸がん予防ワクチンキャッチアップ接種事業について

▶ がん検診は、がんから自分を守る貴重な機会。逃さず受診を





問

津市の「空き家」の現状と今後の「空き家対策」について問う

人口減少、少子高齢化、核家族化に伴う、「空き家」の増加は、全国で深刻な問題となっており、何も手を打たなければ、近い将来、大変なことになる。「空き家」の問題は、それぞれが、千差万別で、十把ひとからげに取り扱うことができないことから、なかなか思うように前へ進まないと考えるが、津市の「空き家」の現状と今後の対策は。

答

3つの基本方針を柱に、増加している空き家等の解消を図る

平成27年度に戸建て住宅や店舗を対象とした外観調査を独自に行い、3,924件の空き家が確認され、これまでに空き家情報バンクの運用等により、635件が空き家ではなくなった。一方で、社会情勢等の変化に伴い、1,092件が空き家となり、本年4月末時点で、4,381件の空き家を確認している。

現在、本年3月に策定した第2期津市空家等対策計画において定めた「空家等の発生の抑制と適正管理の促進」「空家等の利活用の促進」「管理不全な空家等の解消の促進」の3つの基本方針を柱に、空き家等の解消に向けた対策を、総合的かつ計画的に推進している。

その他の質疑・質問

- 「空き家」の利活用の促進について
- 「空き家情報バンク」の取り組みについて
- 「多文化共生社会」における課題について
- 今後増えるであろう問題ある空き家への対策は
- 「特定空き家」について
- 相続放棄したいという「空き家」について
- 所有者がわからない「空き家」について など

リフォーム中の「空き家」



問

100%補償するとの市長名の文書があるが、どうするのか

平成26年10月に美杉地域のトンネル工事において、発破作業により、現場付近の民家にひびが入る被害が発生した件について、いまだ補償が行われていないが、被害者は、金銭補償ではなく元通りに修繕をしてほしいと言っているだけである。

受注者に保険に加入させていなかったのは、工事請負契約約款違反であり、100%補償するという市長名の当時の文書もあるが、どうするのか。

答

今後も、引き続き、誠意を持って金銭補償の交渉に努める

建設工事請負契約約款に保険等の加入に係る規定はあるが、本件に係る振動の想定値が基準未満であったことから、当該振動に係る損害賠償保険への加入については求めていなかった。今年の5月にも、現地に赴き被害者の方と面談による交渉を行ったが、ご理解が得られていない状況である。

「公共事業に係る工事の施行に起因する地盤変動により生じた建物等の損害等に係る事務処理要領」において、補償は原則として金銭をもって行うものとするとして、損失補償算定標準書に基づく補償額を提示している。今後も、引き続き、誠意を持って、交渉に努めていきたい。

その他の質疑・質問

- 市営浄化槽事業における財産権の侵害、私文書偽造および国県補助金について
- 津市の学童保育施設の充実について
- 学校給食食材の仕入れについて
- 都市計画道路（久居井戸山町垂水線）の整備について

学校給食は地産地消の食材を用い、仕入れは適正に





問 補助金、委託金等の検証と評価 および交付基準の考え方は

補助金については、成果や効果が曖昧であること、長年にわたり特定の相手方に交付され続けることによって既得権化しやすいなどの問題点が考えられる。補助金の財源の多くが市民の税金で賄われていることや、津市の厳しい財政状況を踏まえ、検証と評価を行い、市民の理解を得ることが必要である。補助金を活用した、より発展的な仕組みづくりについてどう考えるのか。

答 公平・公正な仕組みとなるよう 取り組みを進める

地域かがやきプログラム事業は、各総合支所において実施団体が提出する事業実績報告書に基づき、事業成果や収支決算書の内容を確認・評価し、地域の活性化等の効果が見込めるかを判断しているが、その多くの事業には、固定化、補助金等への依存、事業効果測定の曖昧さなどの共通した問題があると認識している。公平・公正な仕組みとなるよう、各総合支所で地域の関係者の方とプレ懇話会を開催して検討を始めており、慣例的に続けていることを調査し、オール津市として同プログラムの制度設計を見直すことで、将来にわたり地域を活性化する取り組みができるよう進める。

その他の質疑・質問

- 公契約条例の進捗（公正競争の実現に向けて）
- 消防業務（火災、救急、職員面）の課題は
- 将来の消防体制の考え方と広域化スケジュール
- 自衛隊基地と地域の関係について、災害発生時の連携と協力は。また、基地関連予算について
- 国民健康保険料の収納状況と負担率について
- 国保事業運営の不安定要因となっている施策は

水陸両用バギーの操縦訓練を行う津市消防本部の高度救助隊員



問 教員免許更新制度廃止による人材確保と多忙化解消を問う

平成21年4月1日に施行された教員免許更新制が、令和4年7月1日に解消されることとなった。更新のための講習は高額を受講料、手続きの煩雑さ、5日間で30時間の受講による勤務先や子どもたちへの影響など、多くの問題点を引きずってきた。この制度の解消により、教員の多忙化の一つの要因が除かれるとともに人材確保にもつながることと考えるが、教育委員会の見解を問う。

答 多忙化解消につながると認識。 人材確保のため一般にも周知

文部科学省の調査より、教員免許更新講習を受講するための時間、費用および移動の際の負担等が指摘されていることから、教員免許更新制の廃止が教員の多忙化解消につながると認識している。

実際に、教員として勤めていたが、教員免許更新が負担となり、定年前に辞職する方がいた。そのため、教員免許状を所持している一般の方の中にも、教員免許更新が負担となり、教員になることを諦めている方がいることも推測される。

今後は県教育委員会と連携しながら、教員免許更新制の廃止を、各学校をはじめ広く一般の方にも周知することで、より一層の人材確保に努める。

その他の質疑・質問

- 安全な津の海と安心して楽しめる海浜に関して
- 津エアポートライン高速船の安全運航について
- 阿漕浦海岸へのトイレの設置について
- 海難非常時に活用できる救命設備について
- 大規模災害の被災地で活用できる「トイレトレーラー・移動トイレ車」の導入に関して
- 津市美術展覧会（市展）に関して

など

阿漕浦海岸に常設トイレまたはトイレトレーラーの設置を願う





問

津市独自に小中学生と障がい者の医療費窓口無料の実施を

国による小中学生や障がい者の医療費窓口無料の実施に伴う国からの負担金の減額措置は、不要な受診の増加と医療費の拡大を懸念したものであるが、他県では小中学生の窓口無料を実施した結果、早期受診による重篤化防止に役立ったなどの意見もある。津市でも窓口無料の対象を小中学生と全ての障がい者に広げ、実績を上げ、国に減額措置の廃止を迫るべきと考えるが、どうか。

答

国による減額調整措置の廃止を第一義と考え、働きかけていく

医療保険制度については、必要な医療が適切に提供されるべきであり、津市でも子育て世代や障がいのある人の負担を軽減するため、福祉医療費の助成を行っている。その一方、保険者の立場としては、安定的な事業運営を図るため、できる限り医療費が抑制されるよう取り組むことが求められている。

津市としては、医療費窓口無料の実施に当たっては、国による不合理な減額調整措置の廃止がなされることが第一義と考え、今後もあらゆる機会を捉えて、減額調整措置の廃止を働きかけていく。

その他の質疑・質問

- 小中学校の女子トイレに生理用品の常備を
- 愛好者・競技者が安心して利用できるスケートボード練習場の整備を
- 物価高騰に伴う集会所の建築・修繕に関する値上がりに対応を

スケートボードの練習をする若者。障害物は手作りだ



問

母なる大地をこれ以上傷つけてよいのか

津市内には風力発電施設が何基あり、風力発電・太陽光発電でどの程度家庭用電力を賄っているのか。また、賄えているとすると、山を切り開いたり、母なる大地を傷つけて、風力発電施設をこれ以上造る必要はあるのか。

また、経ヶ峰の年間登山客数はどれくらいか。そして、登山客が下山した後にお金を使ってもらえるような方策は考えているのか。

答

生活環境に配慮した再生可能エネルギー推進に努める考え

風力発電施設は、津市内で38基が稼働している。令和3年12月末時点で津市の再生可能エネルギーの発電出力の規模が50万6千キロワットを超えており、これは家庭用電力全部を賄える量を大きく超えているが、家庭用が賄えているから十分だという考えではなく、周辺環境に配慮しながらまだまだ再生可能エネルギーの普及を進めていくべきだと考えている。

経ヶ峰の年間登山客数は約1万5千人と推計している。下山後の観光振興としてハイキングマップで芸濃・美里・安濃地域の観光施設・名所等を紹介し、集客力の向上を図っている。

その他の質疑・質問

- 議案第86号 令和4年度津市一般会計補正予算(第4号) から
 - 歳出 教育費 教育振興費 健康教育推進事業
- 中学校の上履き廃止について
 - 防災上の観点から
- 移動診療カー（いつまでも元気で号）の導入について

経ヶ峰の展望台からの景色





問 一志学校給食センターの更新とセンター方式で充実を図るのか

平成3年に旧一志町の幼稚園・小学校・中学校の給食施設として開設後、約30年経過し、調理場には空調設備がなく、排水設備や建物の経年劣化も激しく、調理設備機器に至っては老朽化で部品の手配が大変とのことである。早期に施設を更新する考えは。また、少子化が進んでいる近隣の美杉・白山と久居地域も含む津市南部全体の給食センター方式で充実を図る考えはどうか。

答 地域の児童数や給食施設の状況を見ながら、検討していく

一志学校給食センターは、津市個別施設計画にあるとおり、施設の耐震性は確保しており、これまで必要に応じて修繕を行ってきたが、築後31年が経過し、床下の配管や調理機器等の老朽化が顕著になり、安定した給食提供への影響が懸念されるため、同センターおよび一志地域への給食提供の在り方を考える必要がある。その在り方を考えるに当たっては、同センターの改修による長寿命化や新たな学校給食センターの建設による給食提供等が考えられる。今後は、一志地域の児童数の推移と近隣地域の給食施設の状況や児童数の推移等も踏まえ、検討していく必要があると考える。

その他の質疑・質問

- 榊原自然の森「湯の瀬」と周辺施設について
- 給食は地域に根ざした質のよい食材を安定的に
- 豪雨時期に向けての津市の危機管理の在り方は
- 急激な物価高騰に対し津市独自の支援事業で子育て家庭物価高騰対策支援金給付事業約5億5千万円、保育施設、学校給食物価高騰対策支援金事業約4,600万円補正予算への市長の思いは **など**

一志学校給食センターと同センターに係る質問要旨



問 榊原温泉「湯の瀬」のリニューアルオープンについて5点問う

老朽化による建て替えが進んでいるが、現在の進捗状況は。新湯の瀬は地元の活性化の起爆剤と期待しているが、連携状況は。また、集客のため多方面へのPRが重要だと考えるが、オープン前のPRの状況は。また、指定管理者は全国で唯一福祉観光旅館を運営しているが、障がい者、介助が必要な高齢者に優しい施設とのPRはどうか。最後にオープニングセレモニーの予定は。

答 オープニングセレモニーは8月28日（日）を予定

7月竣工予定で、5月末の工事進捗率は70%である。地元との連携は、事業コンソーシアムと地元との協議における地元からの要望について、対応が行われ、地元のリクエストに応える施設整備となった。オープン前のPRについては、近々、指定管理者において専用のホームページを開設し、施設のPRを開始すると同時に、利用の予約受付を開始する予定である。障がい者や、介助が必要な高齢者へのPRについては、指定管理者が事業ノウハウを活用して行い、市も協力していく。

オープニングセレモニーは、8月28日（日）の予定で、式典やアトラクションを計画している。

その他の質疑・質問

- 「農山漁村振興交付金事業」について
- 津市空き家情報バンクについて
- 民生・児童委員の現状と改選に向けて
- シルバー人材センターの状況と今後について
- ひきこもり支援の現状と取り組みについて
- 保育所等の利用について
- 女性消防職員、女性消防団員について **など**

工事中の榊原温泉「湯の瀬」





問

河芸町島崎町線の志登茂川河口架橋の今後の見通しは

これまで志登茂川河口架橋は、「夢の架け橋」と称され、まだ先のことと感じていたが、令和3年度、ついに県において、道路予備設計や地質調査等の予算が措置されたことで、市においても、県事業に対する負担金の計上や市職員の派遣を行うなど、現在、積極的に事業推進を図っている。

志登茂川河口架橋が実現に向けて動き出したことに、強い期待を抱いているが、今後の見通しは、

答

予算の確保と事業の着実な推進に向けて、県に要望していく

平成23年度に、津松阪港直轄海岸の保全施設整備事業が事業化されたことを受けて、志登茂川河口から北の部分について、堤防との一体施工で河芸町島崎町線の建設が始まった。この頃から、志登茂川の架橋の実現に向けて、さまざまな場所で訴えてきたところ、令和3年度、県において、架橋の具体的な準備のための予算が確保された。これを受けて、市の負担金を計上するとともに、本年度から、津市の職員1人を県の津建設事務所に派遣することで、事業準備に携わっている。

今後も、必要な予算の確保と事業の着実な推進が図られるよう、県にしっかりと要望していく。

その他の質疑・質問

- 小児への新型コロナワクチン接種について
 - 現時点での予約状況について
 - 問い合わせ等の状況について
- ブロック塀等撤去改修事業補助金制度について
 - これまでの申請件数と補助金の実績は
- 「体育座り」について
 - 教育委員会としての認識と現状、今後の対応は

順調に工事が進む、都市計画道路河芸町島崎町線



問

大門・丸之内地区で思い切った未来ビジョンを導き出すために

大門・丸之内地区の未来ビジョンは、誰が率先してアイデアを出して具体化していくのか。

現状の延長線上ではない、思い切った地区の変身イメージを創出するための方法として、どのようなことを考えているか。大胆なボールを投げ込んで意図的に波風を立て、刺激を与えるべきであり、それができるのは津市のリーダーである市長であることを踏まえ、取り組むべきではないか。

答

市長として一定の覚悟をもって未来ビジョンづくりに取り組む

津市大門・丸之内地区未来ビジョンは、未来ビジョン策定委員会を立ち上げ、様々な分野から参加いただいた方々に幅広い視点からアイデアをいただき、事務局が取りまとめた案をもとに委員会で作成していく。また、さらに多くの方から思い切ったご意見をいただけるようご意見箱の設置やホームページでの意見募集を行っており、さらに座談会を設けることも必要だと考えている。

皆さまからいろいろなご意見をいただきながら実現を目指していくという、市長としての覚悟を持って、未来ビジョンづくりに取り組んでいきたい。

その他の質疑・質問

- 高茶屋地区における認定こども園の整備に係る売却入札が不調に終わったことへの市の見解は
- 消防防災分野においてドローンの積極的活用を
- 男性トイレにもサニタリーボックスの設置を
- 防災対策の充実のため、女性の参画、外国人リーダーの育成、避難所でのWi-Fi環境の整備、お知らせ絵カードの活用に取り組むべきなど

大門・丸之内地区を新しい姿に甦らせる鍵を握るのは誰か





問 公立幼稚園でのICT化の推進について問う

県から募集があった公立幼稚園への「教育支援体制整備事業費補助金」の対象事業のうち、「園務改善のためのICT化支援」について交付申請することになったと聞いているが、具体的にどのような施策を実施するのか。

また、幼稚園教諭が園務改善に用いる以外にタブレット端末を活用することはあるのか。

答 タブレット端末を早期に導入し有効に活用していく

園児の登降園管理、家庭への保育動画の配信、園だよりなどの連絡物の配信、教職員の研修、幼稚園と小学校との交流事業などでタブレット端末を活用し、事務の効率化につなげたい。

また、園児の興味や関心に合わせて、幼稚園教諭と園児と一緒にタブレット端末を使って、虫や花を検索するなど、園児の好奇心、創造力などが育まれるように保育の中で活用したい。さらに、小学校でのタブレット端末の活用に向け、幼児期にタブレット端末に触れる機会をつくり、疑問に思ったことや興味・関心があることを知る喜びや学びに向かう力の基礎を培っていききたい。

その他の質疑・質問

- 議案第84号津市都市公園条例の一部の改正について
- 保育施設での使用済み紙おむつの持ち帰りについて
- 県立一志病院での病児・病後児保育について
- 白山地域における産業廃棄物最終処分場の建設計画について

▶
公立保育施設では、使用済み紙おむつを自宅に持ち帰っている



問 津市の海岸の環境保全の在り方について問う

本年は、津市環境基本計画の中間年に当たるが、これまでの5年の振り返りと、これからの5年の計画の推進についてのPDCAは。

同計画にある「山と川と海のネットワークの推進」について、県・環境団体等との連携および市民のボランティアの取り組みにおける市の役割は。

答 市民への啓発に努めて海岸線の環境保全につなげていく

津市環境基本計画のPDCAについては、現在中間見直しを進めている中で、環境情勢の変化を踏まえて、今後の効果的な推進策を検討しており、山・川・海の自然環境の保全に取り組む「山と川と海のネットワークの推進」を通じて、さらなる展開が図れるよう取り組んでいく。

海岸線の環境の保全のため、その元となるまちを清潔に保つ啓発を継続しながら、国や県等との連携を深めていく。また、ボランティアに参加される方の気持ちや、環境を大切にする価値観や活動が次世代にも広がっていくよう、啓発に取り組んでいく。

その他の質疑・質問

- 男女共同参画基本計画について
 - 市民の意識調査結果から見てきたことは
 - 次期計画策定に向けた考え方は
- コロナ前後の子どもたちの状況について
 - 児童扶養手当受給の変化と現状は
 - 一人親家庭などの学習支援の変化と現状は
 - 子ども食堂の推移と現状は

▶
ボランティアによる阿漕浦海岸の清掃風景





問

認知症高齢者の徘徊対策に小型のGPS機器の購入補助を

5月10日に美杉地域で認知症高齢者が行方不明になる事件が発生した。近年、高齢化率が上昇している中で、徘徊^{はいかい}SOSネットワーク津事業への協力者数が非常に少ないと感じるが、どのようなPRをしているのか。

また、現在、津市はGPS機能を有した徘徊探索器を貸与しているが、伊賀市が貸与しているような小型のGPS機器の購入補助の考えは。

答

認知症施策の選択肢の一つとして協議を進めていく

徘徊SOSネットワーク津事業は、認知症の方が行方不明になった際に、警察や家族などからの依頼により、認知症サポーターなどの協力者に、行方不明者の身体的特徴や服装等の情報をメールで配信し、捜索の協力をお願いするものであり、地域包括支援センターや各地域福祉活動団体の研修会などの場における紹介や、民生委員・児童委員のご協力をいただきながらPRに努めている。

今後、認知症高齢者が増加していくことが予想される中で、小型のGPS機器の購入補助については、認知症施策のさらなる充実を図るという観点から、選択肢の一つとして協議を進めていく。

その他の質疑・質問

- 獣害対策について
- 一般廃棄物収集運搬等について
- 合特法支援事業について

高齢化率が60%を超える美杉地域



問

津城復元のためのワーキングチームの設置を

津城はまちのシンボルとしての存在でもある。丑寅櫓・戌亥櫓・多門櫓の古写真と図面も発見されており、津城復元の準備は整っている状況である。続日本100名城に選定されてから5周年となるこの時に、津市としてワーキングチームを設置して、「ふるさと津かがやき寄附」も活用しながら石垣の修復とともに、津市民の念願である津城復元へ向けて取り組むべきでは。

答

関係部局と連携し、今後の津城の整備について検討を進める

歴史的な価値を保全して後世に伝えていくこと、文化財保護の立場から史跡の保護・管理を図りつつその整備・活用を図っていくことが必要であり、復元に当たっては土台となる石垣が大切であると考えている。文化の面や中心市街地活性化といった面からの検討を行うため、関係部局との連携を図るとともに、県指定史跡であることから県教育委員会や専門家の指導も得ながら検討を進める必要がある。寄附金の活用については、津城整備を進めるに当たって、中心となって活動されている皆さまのお考えを聴きながら、今後の津城をどう考えるかを決めていくタイミングだと思っている。

その他の質疑・質問

- 津城復元について
 - どのようなビジョンを描いているのか
 - 旧社会福祉センター除去^{しんちよく}の進捗状況は
 - 感震ブレーカー普及促進への補助金の考えは
 - 建設、土木事業の平準化への今後の取り組みは
 - エリアプラットホーム構築等、都市拠点再生推進事業の進捗状況は

など

津城跡 模擬櫓





問 幼保小における学びの連続性の重要性について問う

幼児教育と小学校教育は「遊びを通した学び」と「教科学習」のようにカリキュラムの形態が異なっているが、その中で両者の教育の目的・一貫性を持つことが重要である。

国において令和4年4月に各自治体と学校・園が連携して取り組む「幼保小の架け橋プログラム」が示されているが、津市における取り組みはどのようなものか。

答 本年度、津市の架け橋プログラムの作成に着手する

本年度、幼小接続のさらなる充実を目指して、津市架け橋プログラムの作成に着手し、幼児教育と小学校教育に携わる職員等が日々の実践を話し合うプロジェクトを立ち上げ、保護者と連携して各校・園のカリキュラムの作成や幼小の接続期の教育方法の充実・改善を図る。幼児教育では、非認知能力や基本的な生活習慣等の基礎を培うための遊びや環境構成の工夫に力を入れ、また、小学校教育では、幼児期に育まれた基礎的な力が各教科の学習に円滑に接続されるようカリキュラムを作成し、自分で課題や問題について解決する力や、さらなる学習意欲の向上につなげていく。

その他の質疑・質問

- 榊原地区活性化計画に基づく農山漁村振興交付金事業について
- 保育施設・学校等給食物価高騰対策支援事業について
- GIGAスクール構想・タブレットの活用について
- 学校運営協議会について

など

榊原地区をはじめもっと津市全体の魅力発信を



問 津市海浜公園の整備計画を問う

サッカーと陸上競技は競技人口も愛好者も多く、代表的なスポーツである。その2つのスポーツができる施設が整備されていない現状はおかしいのではないかと。津市ではサオリーナができて屋内スポーツの充実が図られ、津市民テニスコートもできた。今こそ、サッカーと陸上競技を両方兼ねる津市海浜公園を整備すべきではないかと。津市海浜公園の現状と今後の整備計画を問う。

答 (仮称) 津市スポーツ施設整備計画の中で整備の方向性を示す

津市海浜公園内陸上競技場のインフィールド部分については、サッカーの利用が全体の8割を占めており、大会も開催されている。陸上競技については、現状、公認陸上競技場ではないので、関係団体等からも改修の要望が出ている。現在、津市スポーツ推進審議会で議論していただいております。その結果も踏まえて、令和4年度中に策定予定の(仮称)津市スポーツ施設整備計画の中で整備の方向性を示すとともに、サッカーや陸上競技の関係団体の皆さまからもご意見をいただきながら、具体的な整備内容について決定していきたいと考えています。

その他の質疑・質問

- 容器包装プラスチックごみの分別について
- 保育園、幼稚園、小中学校のマスクの使用について
- 通学範囲外の中学校への通学の可否について
- 障がいを持つ子どもへの津市の対応について
- つうぽっぽについて
- 相談窓口について

など

供用開始から30年以上が経過し老朽化が進む陸上競技設備





問

不登校生徒の高等学校入学者選抜に係る調査書について問う

高等学校入学者選抜において、高等学校で学ぶ意欲や能力を有する不登校生徒について、適切に評価することが望まれると考えるがどうか。

また、その保護者や生徒に対して、どのように働きかけていくのか。

答

さまざまな場面での学習状況を把握して評価している

調査書には、不登校生徒が多様な機会において取り組んだ学習状況などについても十分に把握した評価として記載するよう努めている。また、生徒の学習状況などに係る情報共有を高等学校に対して行う場合もある。

保護者や生徒への働きかけについては、家庭訪問等で担任以外にも進路指導主事等が関わりながら、多様な学びの機会についての紹介や指導要録上の出席扱いとなる場合についての説明を行うなど、さまざまな不安感等に寄り添った丁寧な対応を行うよう、各学校に対し引き続き指導していく。

その他の質疑・質問

- 農業委員会タブレット端末導入事業について
 - 今後の運用スケジュールについて
 - 運用するためのソフトは
- 財産管理課への庁舎等保全担当副参事（兼）建築修繕支援担当副参事の配置について
- 津市のブランディングロゴマークの作成を

など

不登校児童・生徒への支援の在り方について



問

避難行動計画「マイタイムライン」を市独自に作成する考えは

近年、地球温暖化という気候変動の影響もあり、風水害が激甚化している。特に平成の終わりから令和の初めにかけて、避難の遅れにより、多くの方々が犠牲になった。台風のように発生してから発災までにリードタイムのある災害に対して、状況をあらかじめ予測した上で、誰が何をするかの防災行動を時系列で整理する、避難行動計画「マイタイムライン」を市独自に作成する考えは。

答

国土交通省の手引き等を利用し、引き続き啓発に取り組む

マイタイムラインは、台風の接近や河川の水位上昇等に合わせて、自分自身の行動を時系列に整理し、まとめたもので、避難判断のサポートツールとして活用することで、逃げ遅れゼロに向けた効果が期待できる。津市においても、有効なツールであると捉えており、防災学習会や避難訓練等でマイタイムラインの紹介や、その効果などについて周知を行っている。

今後も、これらの取り組みに加え、国土交通省のホームページに掲載されているかんたん検討ガイド等を活用してもらえよう、市のホームページにリンクを貼るなど、引き続き啓発に取り組む。

その他の質疑・質問

- コロナ禍における孤立・孤独対策について
 - 中高年世代の出会い応援事業を
 - グリーフケアの推進を
- 防災気象情報と警戒レベルの周知について
- コロナ禍における女性の就業対策について
 - 働く女性への影響は
 - 女性デジタル人材の育成を

など

内閣府・消防庁の警戒レベルポスター。レベル4までに避難を





問 安心感につながる妊産婦への経済的支援は

子育て家庭物価高騰対策支援金給付事業について。子育ての始まりは妊娠であり、妊娠・出産・子育てはワンセットであると思う。コロナ禍の影響で収入が減り、物価高騰のあおりもあって、若い世代の家庭から経済的に不安との声が上がっている。この状況が続くと、人口減少がさらに進むとも言われている。よって、まずは安心感につながる妊産婦への支援が大切だと思うが、どうか。

答 妊産婦の支援も含めてさまざまな角度から全庁的に考える

人口減少対策は最重要課題であり、令和2年3月に策定した第2期津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略において、4つの基本目標の一つに出会い、結婚、出産、子育てがしやすい環境づくりを掲げている。また、令和4年5月には部長級を構成委員とする、津市人口減少対策会議を設置した。人口減少の要因はさまざまあるが、子育てや教育にお金がかかる等の経済的な理由も一つの要因だと考えている。津市人口減少対策会議は庁内における横断的な連携を図り、総合的な調整を図る会議であるので、妊産婦への支援も含めてさまざまな角度から全庁的に考える。

その他の質疑・質問

- 成人年齢引き下げに伴う影響について
- 電子図書館導入について
- 電子母子健康手帳について
- 病後児保育時間延長を
- 不登校・ひきこもりについて
- ユニバーサルデザインを利用したまちづくりについて

など

▶ 病後児保育時間延長を



問 海岸整備の未着手地区の工事着手について県へ働きかけを

工事未着手である三重県建設海岸の白塚地区・千里地区および三重県漁港海岸の白塚漁港（河芸地区）の着手時期は。

また、津市の海岸は全域が事業計画を受け、着手に向けて進んでいる。田中川から北側の千里地区海岸堤防についても、周辺の工事が着々と進んでいるが当該地区の一日でも早い工事着手時期が決められるよう、県へ働きかけを。

答 着実に事業が推進されるよう引き続き県に要望していく

白塚地区、千里地区の海岸は、地質調査を実施し、平成28年度には基本設計が実施された。白塚地区海岸は、今年度から工事着手されることとなり、千里地区海岸についても順次工事着手されるよう引き続き県へ要望していく。白塚漁港（河芸地区）は令和3年度に基本設計を実施し、令和4年度は詳細設計を行う予定であり、令和5年度から工事に着手する予定で進められている。

また、北部地域の海岸堤防の早期整備に対する地域住民の期待は、非常に大きいものとなっていることから、整備に係る予算を拡充し着実に事業が推進されるよう、引き続き県へ要望していく。

その他の質疑・質問

- 北部地域への防災物流施設建設について
- 海岸整備の進捗状況について
- 職員の定年引上げへの対応について
- 定年引上げに伴う職員定数について

▶ 海岸堤防の整備が進められている白塚漁港（白塚地区）



議決結果一覧表

今期定例会では、承認6件、報告14件、条例の一部改正10件、令和4年度補正予算3件、請願2件、人事案件1件、その他6件の42議案が審議されました。

その結果、報告14件、請願2件を除く26件は承認、可決、同意されました。

また、請願2件は不採択とされました。

可決された議案

【全会一致（出席全議員が賛成）で承認・可決・同意された議案】

議案番号	議 案 名 概 要
承認第3号	専決処分の承認について 津市市税条例の一部の改正について 商業地等における固定資産税および都市計画税の特例措置に係る改正など、地方税法の改正に伴う所要の改正
承認第4号	専決処分の承認について 令和3年度津市一般会計補正予算（第15号） 介護保険事業、地域医療推進事業等の増による1,975万5,000円の増額補正等
承認第5号	専決処分の承認について 令和3年度津市土地地区画整理事業特別会計補正予算（第3号） 津駅前北部土地地区画整理事業の増による1,095万1,000円の増額補正等
承認第6号	専決処分の承認について 令和4年度津市一般会計補正予算（第1号） 予防衛生事業、公園整備事業の増による8億4万9,000円の増額補正等
承認第7号	専決処分の承認について 令和4年度津市一般会計補正予算（第2号） 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業、子ども・子育て支援事業の増による3億7,920万円の増額補正
承認第8号	専決処分の承認について 令和4年度津市一般会計補正予算（第3号） 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業の増による3億723万円の増額補正
議案第76号	津市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部の改正について 一般職の期末手当の支給率の改定に連動し、令和4年度以降の期末手当の支給月数については、現行と比べ、6月期および12月期それぞれ0.075月分引き下げるなどの改正
議案第77号	津市常勤の監査委員の給与及び旅費に関する条例の一部の改正について 一般職の期末手当の支給率の改定に連動し、令和4年度以降の期末手当の支給月数については、現行と比べ、6月期および12月期それぞれ0.075月分引き下げるなどの改正
議案第78号	津市市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部の改正について 一般職の期末手当の支給率の改定に連動し、令和4年度以降の期末手当の支給月数については、現行と比べ、6月期および12月期それぞれ0.075月分引き下げるなどの改正
議案第79号	津市教育委員会教育長等の給与及び旅費等に関する条例の一部の改正について 一般職の期末手当の支給率の改定に連動し、令和4年度以降の期末手当の支給月数については、現行と比べ、6月期および12月期それぞれ0.075月分引き下げるなどの改正
議案第81号	津市市税条例等の一部の改正について 所得割の課税標準等、個人の市民税の住宅借入金等特別税額控除、固定資産税の課税標準の特例措置に係る改正など、地方税法の改正に伴う所要の改正
議案第82号	津市国民健康保険条例の一部の改正について 国が新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る保険料の減免に対する財政支援の令和4年度における取扱いを示したことを受けて、新たに令和4年4月1日から令和5年3月31日までの間に納期限が存する保険料の減免を行うとともに、引き続き令和4年3月31日以前に納期限が存する賦課決定期間内の保険料の減免を行うための所要の改正
議案第83号	津市介護保険条例の一部の改正について 国が新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した第1号被保険者等に係る保険料の減免に対する財政支援の令和4年度における取扱いを示したことを受けて、新たに令和4年4月1日から令和5年3月31日までの間に納期限が存する保険料の減免を行うとともに、引き続き令和4年3月31日以前に納期限が存する賦課決定期間内の保険料の減免を行うための所要の改正
議案第84号	津市都市公園条例の一部の改正について 都市公園に有料公園施設の規定を新たに定めるとともに、中勢グリーンパークにおいて、有料公園施設の開設を機に、当該施設における収益を活用して公園全体の管理を行うことにより管理水準を確保し、維持管理経費を縮減することを目的として、指定管理者による管理を行うための所要の改正
議案第85号	市道路線の認定について 観音寺町第24号線ほか8路線の認定
議案第87号	令和4年度津市介護保険事業特別会計補正予算（第1号） 第1号訪問・通所・生活支援事業の増による56万円の増額補正
議案第88号	工事請負契約について 津市立西橋内中学校長寿命化改修（第一期）工事 1億4,918万2,000円
議案第89号	工事請負契約について 津市立橋南中学校長寿命化改修工事 2億3,098万9,000円
議案第90号	工事請負契約について 津興橋大規模更新事業橋梁（下部工）築造等工事 13億9,926万6,000円
議案第91号	工事請負契約について 香良洲高台防災公園管理棟及び屋内運動施設建築工事 3億1,659万1,000円
議案第92号	津市固定資産評価員の選任につき同意を得るについて 坂越 健二

議案番号	議 案 名
	概 要
議 案 第 93 号	訴訟の提起について 係争中の訴訟における原債務者名義の不動産の所有権が移転されていたことによる、当該詐害行為の取り消しおよび所有権移転登記の抹消手続き等を求める訴訟の提起

【賛成多数で可決された議案】

議案番号	議 案 名	賛成しなかった議員
	概 要	
議 案 第 75 号	津市職員の給与に関する条例及び津市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部の改正について 令和3年の人事院勧告に伴い、再任用職員以外の職員に係る令和4年度以降の期末手当の支給月数については、現行と比べ、6月期および12月期それぞれ0.075月分引き下げるなどの改正	中野裕子
議 案 第 80 号	津市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部の改正について 一般職の期末手当の支給率の改定に準じ、令和4年度以降の期末手当の支給月数については、現行と比べ、6月期および12月期それぞれ0.05月分引き下げる改正	中野裕子、佐藤知子
議 案 第 86 号	令和4年度津市一般会計補正予算（第4号） 予防衛生事業、子育て家庭物価高騰対策支援金給付事業、住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業等の増による 24億6,609万8000円 の増額補正等	岡村武（拒否）
議 案 第 94 号	令和4年度津市一般会計補正予算（第5号） 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業、中小企業・小規模事業者支援事業、津なぎさまち管理運営事業等の増による 4億1,551万6,000円 の増額補正	岡村武（拒否） 長谷川植

報 告

議案番号	議 案 名
	概 要
報 告 第 4 号	専決処分の報告について 住宅新築資金貸付金等に係る弁済請求の訴訟上の和解
報 告 第 5 号	専決処分の報告について 市道除草作業に伴う事故による損害賠償額の決定 7万730円
報 告 第 6 号	専決処分の報告について 津興橋大規模更新事業橋梁（下部工）築造等工事に係る契約の一部変更 変更前 8億517万8,000円 変更後 8億451万5,800円
報 告 第 7 号	専決処分の報告について 津市北消防署建築工事に係る契約の一部変更 変更前 3億8,308万6,000円 変更後 3億9,840万5,700円
報 告 第 8 号	令和3年度津市継続費繰越計算書について 一般会計の継続費3事業 3億2,060万550円 の通次繰越
報 告 第 9 号	令和3年度津市繰越明許費繰越計算書について 一般会計26事業 27億4,379万310円 、土地区画整理事業特別会計1事業 6,744万1,000円 の翌年度への繰越
報 告 第 10 号	令和3年度津市水道事業会計予算繰越計算書について 水道事業会計7事業 7億5,886万1,000円 の翌年度への繰越
報 告 第 11 号	令和3年度津市下水道事業会計継続費繰越計算書について 下水道事業会計の継続費2事業 6億8,960万円 の通次繰越
報 告 第 12 号	令和3年度津市下水道事業会計予算繰越計算書について 下水道事業会計3事業 18億1,814万9,000円 の翌年度への繰越
報 告 第 13 号	令和3年度津市モーターボート競走事業会計継続費繰越計算書について モーターボート競走事業会計の継続費1事業 2億4,984万3,000円 の通次繰越
報 告 第 14 号	津市土地開発公社の経営状況について 令和3年度決算および令和4年度事業計画
報 告 第 15 号	公益財団法人津市社会教育振興会の経営状況について 令和3年度決算および令和4年度事業計画
報 告 第 16 号	株式会社伊勢湾ヘリポートの経営状況について 令和3年度決算および令和4年度事業計画
報 告 第 17 号	青山高原保健休養地管理株式会社の経営状況について 令和3年度決算および令和4年度事業計画

不採択とされた請願

議案番号	議 案 名	賛成議員
	概 要	
請 願 第 1 号	消費税率5%への引き下げを求める請願書 ロシアのウクライナ侵略や円安などによる急激な物価上昇が国民生活を苦しめ、中小業者はコロナ禍による打撃からの回復もままならない。住民の暮らし、地域経済、地方自治体に深刻な打撃を与える消費税率の5%への引き下げを国へ働きかけるよう請願する。	中野裕子、桂三発 佐藤知子
	【賛成討論 日本共産党津市議団 中野 裕子議員】物価高騰が進んでおり、国民の暮らしや中小業者の経営に影響を及ぼしている。この高騰から国民の暮らしを守る上でも、日本の経済を強くする上でも、消費税を5%に引き下げることが一番有効な政策であると考えことから賛成する。	
請 願 第 2 号	インボイス制度（適格請求書等保存方式）の中止を求める請願書 コロナ禍や円安などによる物価上昇、ロシアによるウクライナ侵略が日本経済に大きな影響を与えている中、小規模事業者や国民に消費税のさらなる負担を迫るインボイス制度の実施中止を国へ働きかけるよう請願する。	中野裕子、桂三発 佐藤知子
	【賛成討論 日本共産党津市議団 中野 裕子議員】来年10月に予定されているインボイス制度の導入により、商店のほか、配達員やフリーランス、スーパーや直売所などへの出荷農家なども対象となり、多くの業者が課税対象への転換を迫られる可能性がある。いずれはこの負担は消費者のものとなるため、同制度は中止されるべきと考えることから賛成する。	

本会議・委員会の模様を映像配信しています！

第3回定例会の本会議・委員会の模様は、津市議会ホームページで映像配信する予定です。

また、ケーブルテレビ（ZTV）の津市行政情報番組（デジタル123チャンネル）でも本会議の模様を録画放送する予定です。

放送日程等は、決まり次第ケーブルテレビ等でお知らせします。



津市議会の
ホームページに
アクセスできます。

津市議会ホームページから、「映像配信」にアクセスすると、ライブ映像、録画放送が視聴できます。



令和4年第3回定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
8/28	29 本会議 初日	30	31 議会運営 委員会	9/1	2	3
4	5 本会議 質問日	6 本会議 質問日	7 本会議 質問日	8 本会議 質問日	9	10
11	12 建設水道 委員会	13 教育厚生 委員会	14 経済環境 委員会	15 総務財政 委員会	16 決算特別 委員会	17
18	19	20 決算特別 委員会	21 決算特別 委員会 (予備日)	22	23	24
25	26	27	28 議会運営 委員会	29 本会議 最終日	30	10/1

日程は変更になる場合があります。その場合は津市議会ホームページでお知らせします。

編集後記

今回の『つ市議会だより』は、前議会だより編集委員会の、読みやすく、分かりやすくしたいという思いをつないでレイアウトの変更とフルカラー化をすることができました。

編集委員 8人のうち、7人は新人議員です。新しい視点も大切にしながら、市民の皆さまにとって興味がわく、読みやすい『つ市議会だより』を作っていきます。



津市議会では、議会棟1階エレベーター横などに議員出退表示盤を設置しており、各議員の登庁の状況が一目で分かるようになっています。

議員にご用のある方は、議会棟2階の議会事務局へお声掛けください。



つ市議会だよりに対するご意見、ご感想は、議会事務局まで（下記所在地、電話番号等）

つ市議会だより 第66号

編集◆議会だより編集委員会

発行◆令和4年8月16日／津市議会
津市西丸之内23番1号

TEL 059 (229) 3222・3223

FAX 059 (229) 3337

Eメール◆229-3222@city.tsu.lg.jp

ホームページ◆https://www.gikai.city.tsu.mie.jp/

印刷◆共立印刷株式会社

つ市議会だより第65号の5、10および11ページに掲載の会派名に一部誤りがございました。「津市創生」は、正しくは「津市創成」です。おわびして訂正します。